

小・中学校での課題・問題点

【少子化・クラス替え・人間関係】

143.中学校の方が生徒の減少による問題は深刻ではないか。

124.児童生徒数の減少が原因。クラス減、教員減、専科減、部活減など全て繋がっている。その中でどうするか。

【学習】

125.先生が少なく、専科の先生がいないと教育レベルの低下が懸念される。

146.免許外、掛け持ち授業では学力の保障に不安が残る

153.町で先生を確保できないのなら、先生の減は大きな問題

155.学校が希望する免許を持つ先生が多可町にいない可能性がある。

150.複数免許を持っている先生が必要

151.正規の職員が少ない

148.教頭は激務。授業をたくさん持つことが出来ない。

149.5教科以外の免許を持つ教頭が理想か

【行事】

【部活動】

127.部活は別になくても良いのでは。

128.部活よりも大事なことがある。学習面や社会性を培うこと

144.部活動は中学生にとってとても大きな存在

131.中学生生活に部活動が占める割合は50%以上

141.学ぶことがたくさんあったので、部活動に入って良かった。

145.部活動が十分に出来ない学校は魅力的でない

154.部活動は社会性を学ぶ1歩目。上下関係を学ぶためにも大切

129.部活は重要な教育の一部

132.顧問の先生と繋がりを深めることができ、相談やきめ細やかな指導を受けられるメリットがある。

133.担任より部活の顧問の方が一緒に居る時間は長い。

134.学校は、生徒指導の部分で部活動に依存している面がある。

【通学】

138.部活動の選択肢が多くあり、クラス替えができる規模の学校があった方が良いが、それを得るために通学などで時間を犠牲にするのには疑問を感じる。

161.通学において、高齢者が運転する車が怖い。

162.通学において、子どもをいかに守るかが課題

【PTA】

【地域・まちづくり】

130.地域の方が寂しがられるのではないかと心配

126.良い教育が受けられる所に人は集まる。まちづくりの面でも重要な要因

140.課題・問題点の意見が少ない

【財政】

135.良い環境を用意したいが、コロナ対応で国県町財政に不安がある。

【家庭】

159.保護者の多様化

160.子育ての多様化

子どもたちにとって望ましい教育環境とは

【資料2-1】

【クラス替え・社会性】

147.たくさんの児童生徒と生活する、いろんな個性と出会う、切磋琢磨する、人数が多いことは魅力的

【学習】

152.町で先生を確保し、子どもたちが少なくなっても学校を維持することが出来るのか。

【行事】

【部活動】

167.選べる部活動がたくさんあることは魅力的

【通学】

139.子どもたちが有意義な時間を過ごせるか。

【PTA】

【地域】

望ましい教育環境を実現するために

【学校統合】

142.統合する、しない、どちらもデメリットがある。

166.統合に関しては、地元の殻を破れない保護者と都会から嫁いできた保護者、意見が異なる。

157.他所から嫁いで来られたお母さんは統合に抵抗なし

156.小学校の統合も考えて欲しい。

163.未就学児童の保護者から小学校統合には反対の意見はあまり聞こえてこない。

【小中一貫】

【統合しない・小規模の良さを活かす】

165.他の区との統合については、地元で育った保護者がこだわっているのかも

158.地元で育ったお母さんは統合に抵抗がある

164.地元で育った未就学児童の保護者は、中学校の統合は出来るだけ反対したい意見がある。

【まちづくり・防災・財政】

【学校統合 場所】

【学校統合 通学】

【学校統合 部活動】

136.部活動において、統合により様々な問題が顕在化する。

137.部活と保護者の関わりなど統合は難しい面あり

【学校統合 ふるさと教育】

【他市町の事例】

120.統合せずにうまくいっている例

121.統合したけども残念な例

122.小中一貫校のこと

123.統合とは逆の方法を